

様式第4号（第6条関係）

令和7年 9月 16日

富士見市議会議長 勝山 祥 様

会派名・代表者

又は無会派議員名 堀 航大

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

1 期 間

令和7年8月27日（水）～令和7年8月28日（木）
(1泊2日)

2 参加者名

堀 航大

3 場所（行政視察地・研修場所）

札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市民交流プラザ）
[中継会場] 札幌パークホテル3階「エメラルド」

4 調査・研修概要

第20回 全国市議会議長会研究フォーラム
テーマ：「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」

【基調講演】

「主権を預かる誇りと責任」

伊吹 文明 氏（元衆議院議長）

- ・議会は市民から負託された最高意思決定機関であり、議員は強い自覚と責任を持つべきと強調。
- ・人口減少や政治不信が進む中でこそ、地方議会が地域の希望を示す存在になる必要がある。

【パネルディスカッション】

テーマ：「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

コーディネーター：辻 陽 氏（近畿大学教授）

- ・牧原 出 氏（東京大学教授）：議員の役割明確化と待遇改善の両面が必要。国の制度改正動向も踏まえ、地方議会独自の工夫が求められる。
- ・白石 洋一 氏（読売新聞 政治部次長）：選挙の現場から「なり手不足」の実態を報告。無投票增加と若者・女性候補の少なさが課題。
- ・山下 節子 氏（宇都宮市議会議長）：主権者教育や模擬選挙、高校生議会の実践を紹介。厚生年金問題や女性参画促進の必要性を訴えた。
- ・長内 直也 氏（札幌市議会議長）：議場見学や区役所連携「子どもまちづくり体験塾」などを紹介。

【課題討議】

テーマ：「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター：牧瀬 稔 氏（関東学院大学教授）

- ・なり手不足には「諦観的要因（出ても勝てない）」「必然的要因（報酬・環境面の魅力不足）」の2つがあると整理。

- ・全国的に無投票率が上昇し、とくに町村議会で深刻。

【事例報告】

- ・今井 康喜 氏（長野県岡谷市議会 前議長）：定数割れ無投票の経験を契機に、市民との意見交換会やＩＣＴ導入を推進。情報公開強化で「なり手不足」克服に挑戦。
- ・平神 純子 氏（鹿児島県南さつま市議会議員）：女性議員を100人にする会の活動を紹介。セミナーや候補者支援を通じ、女性ゼロ議会を減らし参画を拡大。
- ・中野 進 氏（石川県白山市議会議長）：市民参加型「M G K」を発足。報酬・定数見直しや市民対話を進め、若手・女性参画を模索。

5 感想及びまとめ

本フォーラムを通じ、議員のなり手不足は全国的かつ構造的課題であることを再認識した。特に「若年層・女性・会社員等の多様な人材参画」「主権者教育の充実」「議員活動の見える化」「処遇改善」が重要であると学んだ。富士見市においても、議会をより身近に感じてもらう取組や、市民参加型の意見交換の拡充が必要であり、将来のなり手不足対策に活かしていきたい。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派又は無会派議員にて保管